

令和2年6月1日

金沢錦丘高等学校の生徒の皆さん、保護者の皆様へ

石川県立金沢錦丘高等学校
校長 堀 義 明

～学校再開に際し～

本日、ようやく、全学年一斉登校の日を迎えることができました。

生徒の皆さんにとっては、始業式・入学式から、2か月近く、学校での授業もなく、部活動も行えず、肉体的にも精神的にもひたすら我慢の「ステイ・ホーム」でしたね。本校の先生方は、皆さん一人一人が「自立した学習者」になってほしいとの願いから、様々な課題提示や添削指導、学習補助となる動画配信、さらには電話による面談の実施等に力を注いできました。皆さんを懸命に支える姿勢は、いささかも揺らぐことなく、継続していきます。今日からは、勉強や部活動についてはもちろんのこと、学校生活全般について、直接、何でも相談して下さい。先生方全員、誠心誠意、対応していきます。

保護者の皆様にとりましても、大変苦しい2か月であったことと存じます。様々なご心配とご負担をおかけしつつ、お子様たちのご家庭での自学自習や健康管理などにご協力賜りました。心より感謝申し上げます。さて、今日からは、新型コロナウイルスと共生していくための「新しい生活様式」の徹底、感染リスク回避をできる限り考慮した学習活動および部活動の改善、夏季休業中における授業実施など、教員生活36年目の私も含め、全職員、前代未聞の3か月を迎えようとしています。特に、3年生の保護者の皆様におかれましては、直近のいわゆる代替大会実施の有無や日程を始め、大学入試の実施時期や具体的方法などに関し、不安が付きにくいことと存じます。本県どの高校も、正式かつ正確な情報が不足しているのが現状です。県教育委員会を始め、文部科学省・各部活動専門部・各大学からの情報が入り次第、お子様を通じ、また、ホームページや一斉メールも活用しながら、お伝えしていきます。学校と家庭の円滑な連絡体制・協力体制こそが、個々の「自立」に向けた基盤ではないか、と考えています。どうかご理解とご協力のほど、引き続き、よろしく願いいたします。

生徒の皆さん、保護者の皆様、元気で(G)、明るく(A)、たくましく(T)、この未曾有の緊急時をともに乗り切りましょう！こんな時こそ、合い言葉はGATです！